



みんなで作る 元気な幸田



令和6年度第1回幸田町総合計画審議会

もっと輝く幸田を、
みんなで♪



日時 令和6年8月20日（火）
午後1時から午後2時30分まで

■ 総合計画

● 総合計画は「まちの道しるべ」

総合計画は、将来、幸田町をどのような「まち」にしていくのか、そのためにだれが、どのようなことをしていくのかを、総合的・体系的にまとめたものです。

まちづくり全般を総合的に網羅し、**各種計画の最上位計画**と位置付け、福祉・都市計画・環境などの**個別計画を牽引するための概念・理念計画**として策定しますので、いわば町の「まちづくりを進めていくための道しるべ」だと言えます。



■ 総合計画における法的な位置づけ

● 幸田町総合計画策定条例

・目的

町の総合計画の策定に関する事項を定め、町の総合的かつ計画的な町政の運営を図ることを目的とする。

・総合計画審議会への諮問

基本構想を策定するにあっては、あらかじめ幸田町総合計画審議会に諮問する。

・議会の議決

基本構想を策定しようとするときは、議会の議決を経るものとする。

基本構想に基づき、基本計画及び実施計画を策定する。



■ 計画の構成・期間

● 計画の構成

基本構想：基本理念と目指す将来像を定め、
実現するための方向性を明らかにするもの

基本計画：各種分野において、あるべき姿と
取り組む施策を明らかにするもの

実施計画：具体的な事業を年度ごとに明らかにするもの

● 計画の期間

基本構想は、町政の根幹となる計画であり、長期にわたる方向性を示すものである。一般的に10年程度とされている。

また、基本計画は町政の基本的な計画であり、基本構想の達成に向けた施策の方向性及び体系を示すものであるので、同じく10年とする場合が多い。



■ 関連する審議会等

● 幸田町総合計画審議会

目的：町長の諮問に応じ、町の総合計画に関し、必要な調査及び審議を行う。

委員：20名以内、任期1年
教育委員会の委員
農業委員会の委員
公共的団体の役職員
知識経験を有する者

● 幸田町総合計画策定委員会

目的：総合計画の原案を策定する。

委員：副町長（委員長）
教育長

幸田町職員の職の設置に関する規則における課長以上の職にある者（指導主事及び主幹を除く）

その他：策定委員会の下部組織として幹事会を置く。



■ 幸田町総合計画の変遷

● 計画の期間

計画名	計画期間	
幸田町総合計画	1970年（S45年）～1980年（S55年）	11年
幸田町新総合計画	1977年（S52年）～1985年（S60年）	9年
第3次幸田町総合計画	1986年（S61年）～2000年（H12年） * 基本計画は1995年（H7年）まで	15年
第4次幸田町総合計画	1996年（H8年）～2010年（H22年） * 基本計画は2005年（H17年）まで	15年
第5次幸田町総合計画	2006年（H18年）～2015年（H27年）	10年
第6次幸田町総合計画	2016年（H28年）～2025年（R7年）	10年



■ 幸田町総合計画の変遷

● 計画の理念・将来像

計画名	理念	将来像
幸田町総合計画	人間と自然と産業の調和	人間尊重の理念に基づく健康的な「住みよい町」
幸田町新総合計画	人間と自然と産業の調和	人間尊重の理念に基づく健康的な「住みよい町」
第3次幸田町総合計画	人と自然と産業の調和	緑のなかの豊かな活力ある文化都市
第4次幸田町総合計画	人と自然と産業の調和	やさしい いきいき 伸びるまち 「躍動と創造の緑住文化都市」
第5次幸田町総合計画	調和－人と自然、 友情－人と人、 発展－人と都市	夢のある、心のかよう、活力あるまち 「人と自然を大切にする緑住文化都市」
第6次幸田町総合計画	人と自然と産業の調和	みんなでつくる 元気な幸田



■ 幸田町総合計画の変遷

● 第6次幸田町総合計画

- (1) 計画年次：2016年（H28年）～2025年（R7年） 10年
- (2) 基本理念：人と自然と産業の調和
- (3) 将来像：みんなで作る 元気な幸田
- (4) 目標人口：42,000人 * 将来目標：50,000人
- (5) 目標年次：2025年（令和7年）
- (6) 基本目標
 - ①安全・安心 「いのちと暮らしをまもるぞ」
 - ②環境 「自然豊かに美しく」
 - ③産業振興 「幸田から全国へ 世界へ」
 - ④健康・福祉 「お年寄りまでみんなが元気」
 - ⑤教育・文化 「きたえよう！ ころとからだ」
 - ⑥協働・参画 「みんなのちからで続くまち」



■ 第6次幸田町総合計画

● まちづくりの基本理念

『人と自然と産業の調和』

豊かな自然の保全や産業の発展は先人の知恵とたゆまない努力によるもの。

このまちが、これからもずっとあり続けるために基本理念を定めたもの。

● めざすべき将来像

『みんなでつくる 元気な幸田』

それぞれの地域に応じた支え合いが地域の元気になり、町の元気になっていく。

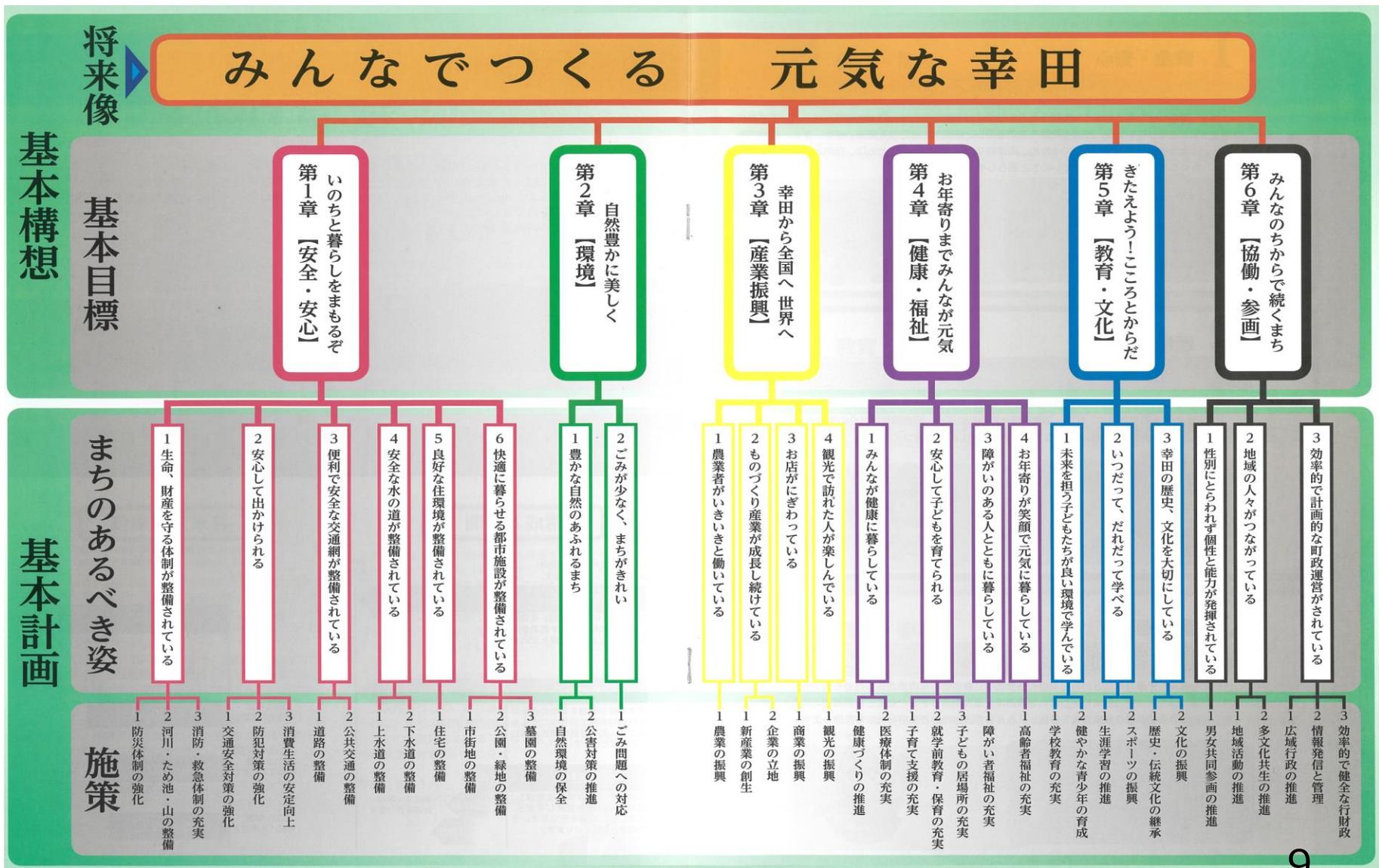
年齢、性別を問わず、地域への想いを抱くみなさん（住民・事業者）と行政が共にそれぞれの役割を果たしながら、みんなで幸田町を支えていく。そんな思いを込めて将来像を定めたもの。



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

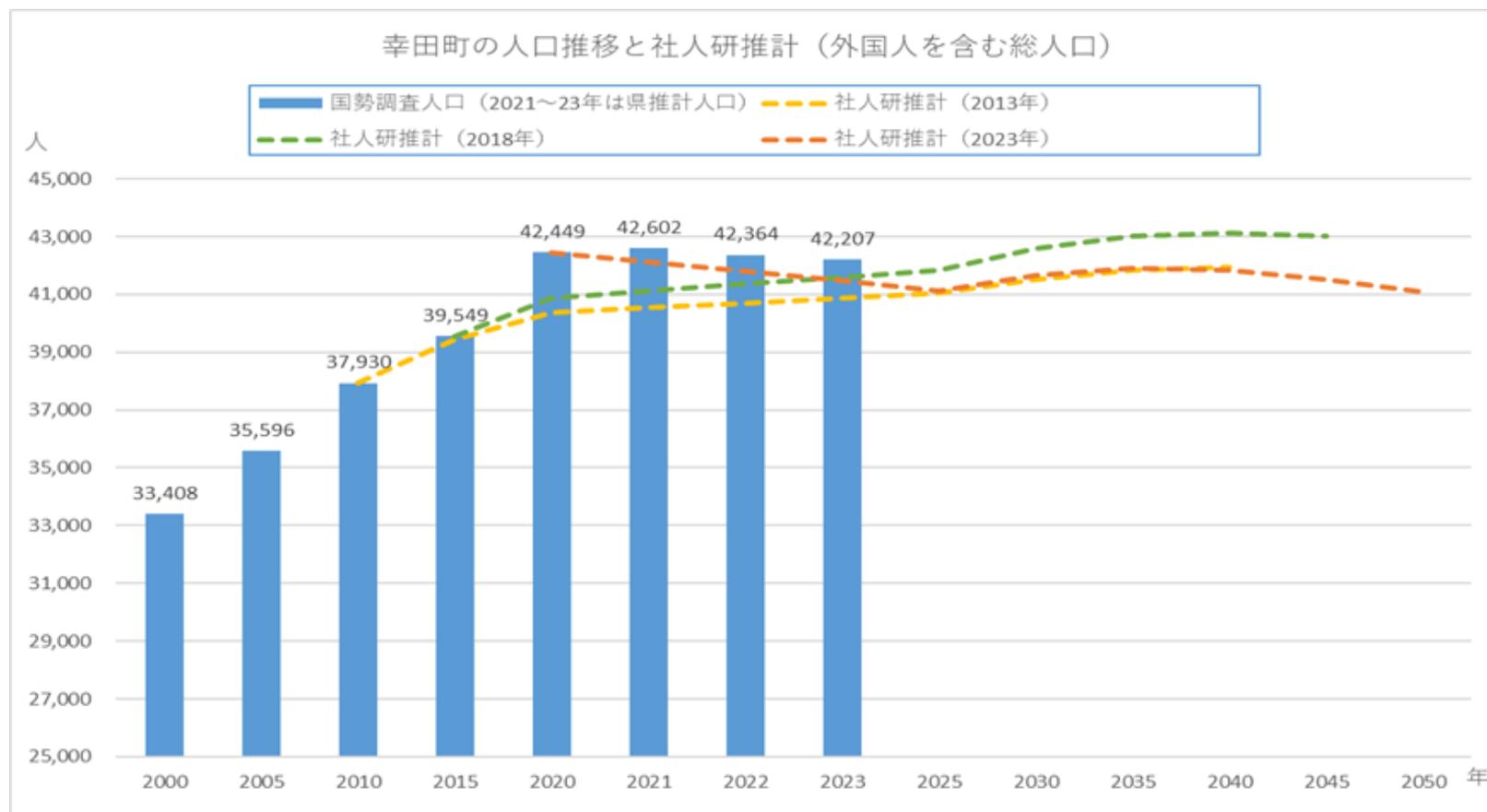
将来目標：50,000人



■ 幸田町の人口の現況

● 総人口

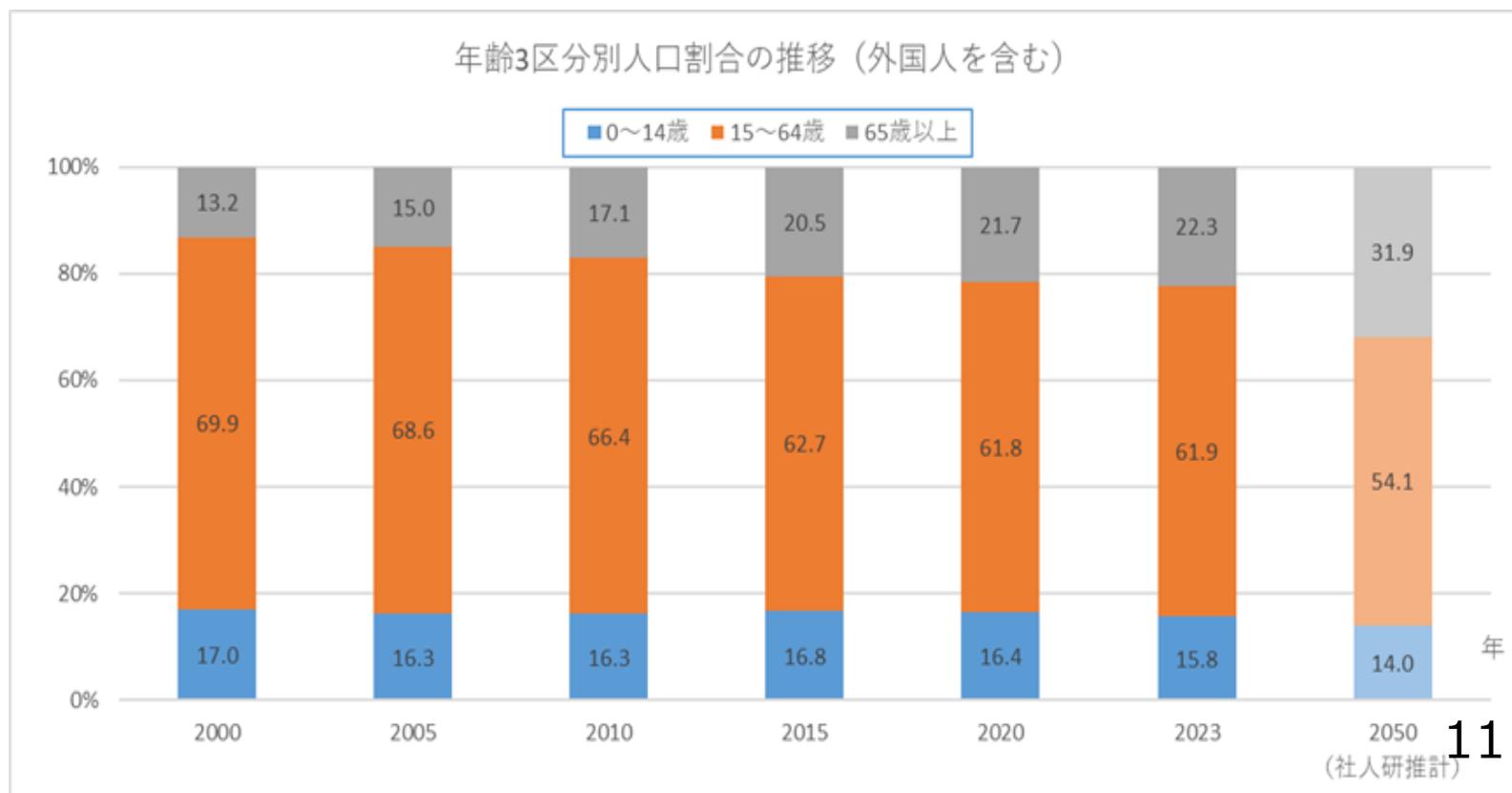
第6次幸田町総合計画では、2025(令和7)年度までに42,000人を見込み、将来的には50,000人規模となることを展望しました。



■ 幸田町の人口の現況

● 年齢3区分別人口

2020(令和2)年の国勢調査時点の年齢3区分別人口は、生産年齢人口(15～64歳)が26,254人で総人口全体の61.8%、老年人口(65歳以上)が9,213人で同21.7%、年少人口(0～14歳)が6,982人で同16.4%となっています。

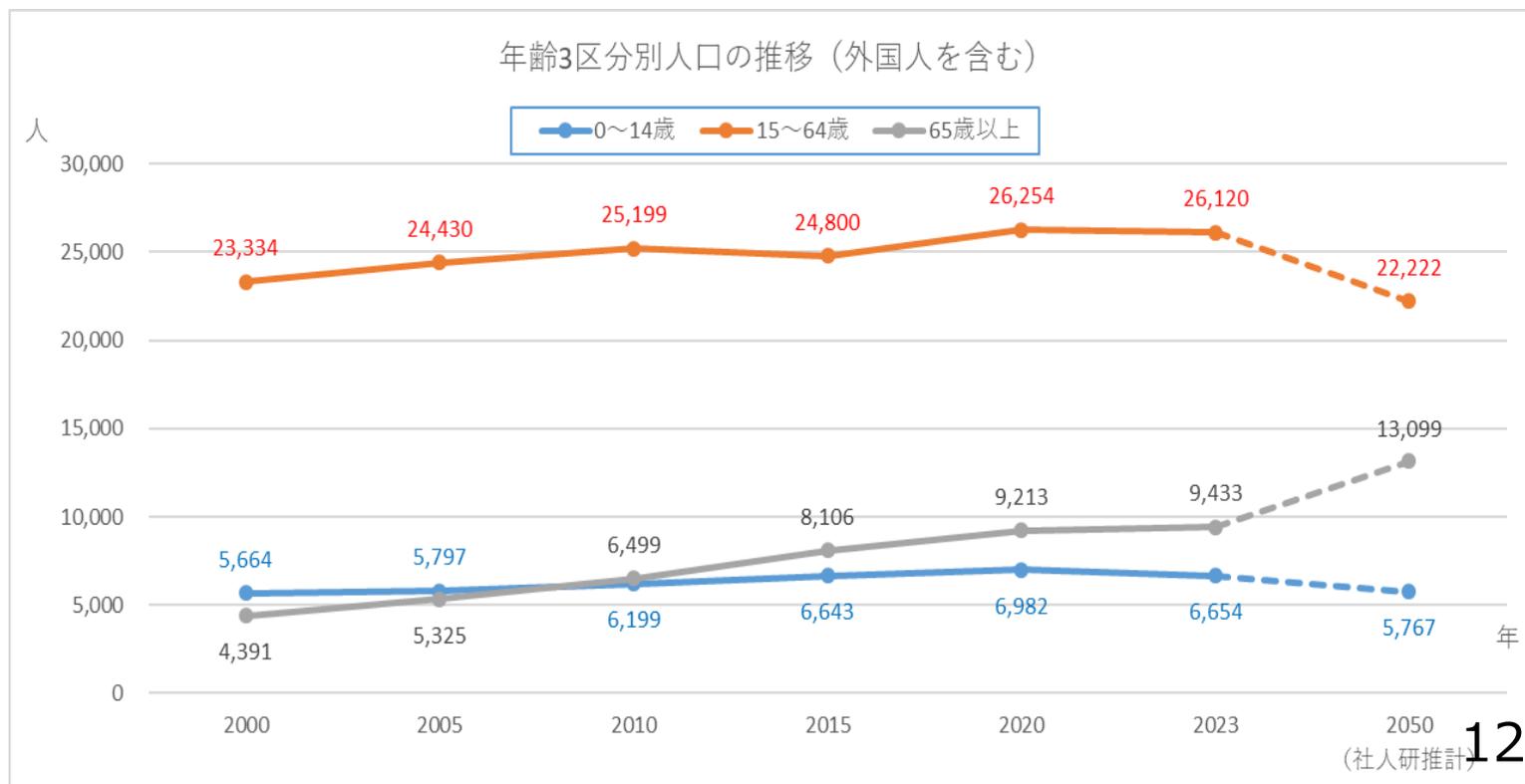


■ 幸田町の人口の現況

● 年齢3区分別人口

生産年齢人口は増加傾向にありましたが、2023(令和5)年時点では26,120人と2020年と比較して減少に転じています。

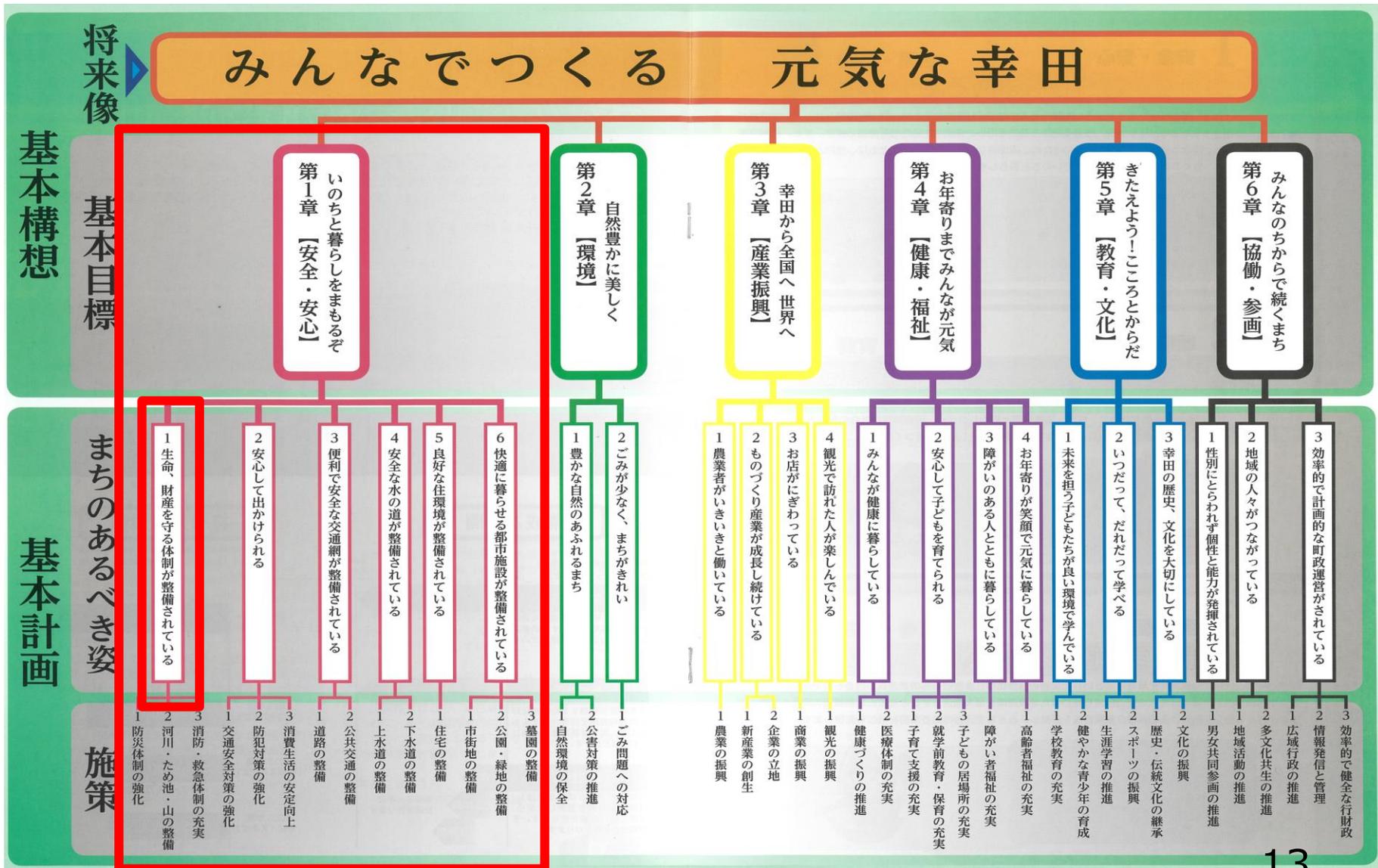
年少人口はこれまで増加してきましたが、2023(令和5)年は6,654人と2020(令和2)年と比較して減少に転じています。



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」 進捗状況

第1章 いのちと暮らしを守るぞ

施策1 生命、財産を守る体制が整備されている

- 地域の安全活動を普及させ、担い手の増加を図るとともに、防災を軸にした地域づくりを強化。
- その一環として、災害に備え、事前の防災啓発・普及活動や地域の安全を24時間見守る体制として、「幸田町安全テラスセンター24」を設置・運営。
- 他自治体と災害時相互応援協定を締結し、災害発生時の連携体制を構築。
- 近年多発している局地的豪雨などの災害対策として、県により菱池遊水地の整備。



幸田町安全テラスセンター24



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第1章 いのちと暮らしを守るぞ

施策1 生命、財産を守る体制が整備されている

【主な取組】

- ・幸田町安全テラスセンター24設置、運営
- ・災害時相互応援協定の締結
- ・マンホールトイレ整備
- ・コンビニ・行政区へのAED設置
- ・菱池遊水地整備(県事業)
- ・消防団の力向上モデル事業の実施(消防団HOW TO教材の活用)
- ・駅利用帰宅困難者用備蓄倉庫の整備
- ・災害対応ドローンの整備

【防災啓発・普及活動実施件数 (件)】

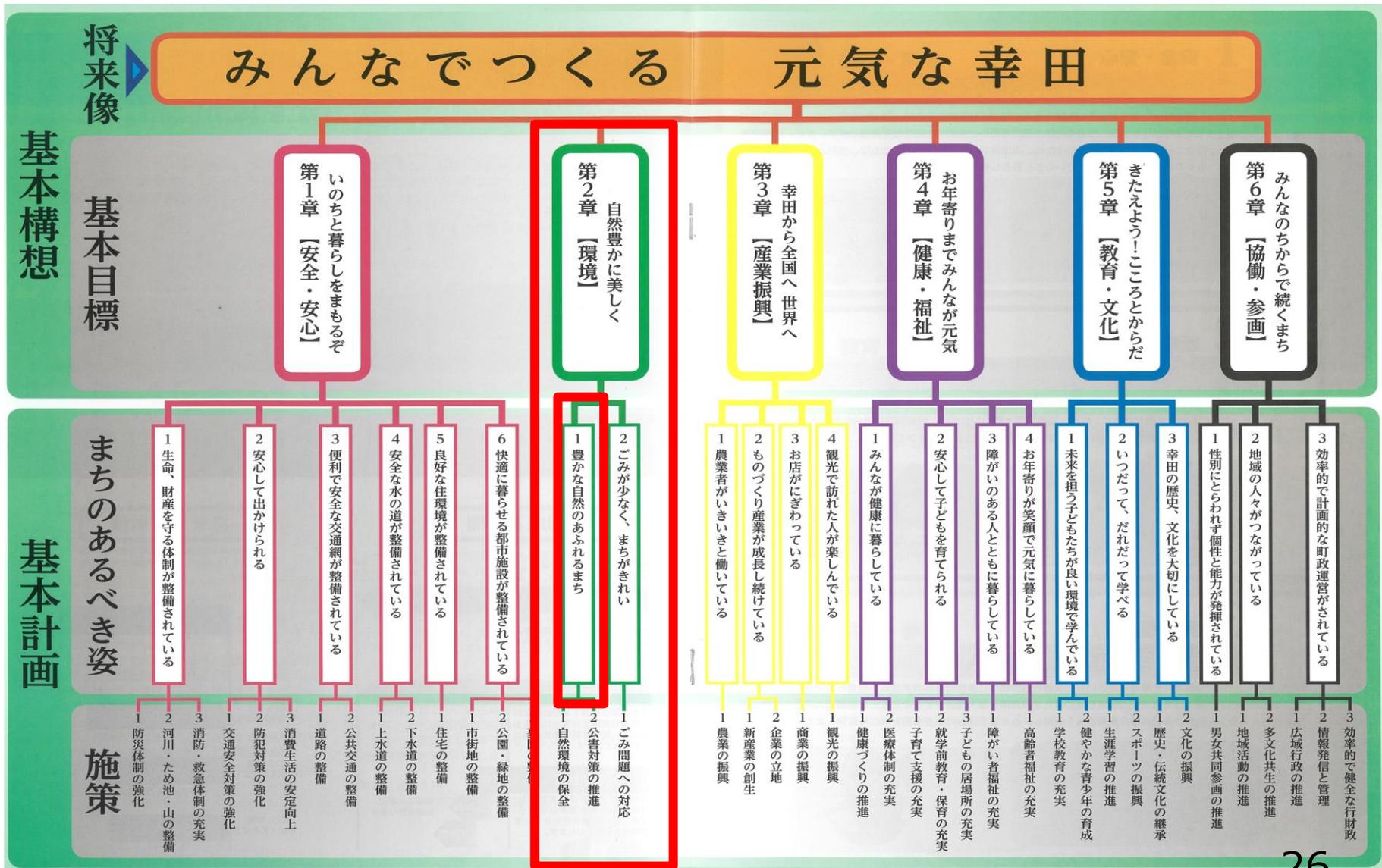
2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
29	44	42	40	47	63	67	63



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」 進捗状況

第2章 自然豊かに美しく

施策1 豊かな自然のあふれるまち

- 豊かな自然環境を守り育て、次世代へ引き継いでいくために、ゼロカーボンシティを表明
- 住宅用の新エネルギーシステム設置費補助金の拡充などCO2削減に資する取組を強化。
- 豊かな自然と美しい田園風景に恵まれた、ゆとりとうるおいのある環境づくりを推進
- 自然環境を保全する取組の一環として、自然観察会及び環境学習講座、ごみに関する出前講座、民間企業の出前講座など環境に関する講座を積極的に開催。
- 町民が環境に関心を持つ機会を創出。



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第2章 自然豊かに美しく

施策1 豊かな自然のあふれるまち

【主な取組】

- ・第2次幸田町環境基本計画の策定
- ・ゼロカーボンシティ宣言
- ・「SDGs未来都市」選定

SDGs未来都市選定



【環境に関する講座、講習会、野外活動等の開催回数（回/年）】

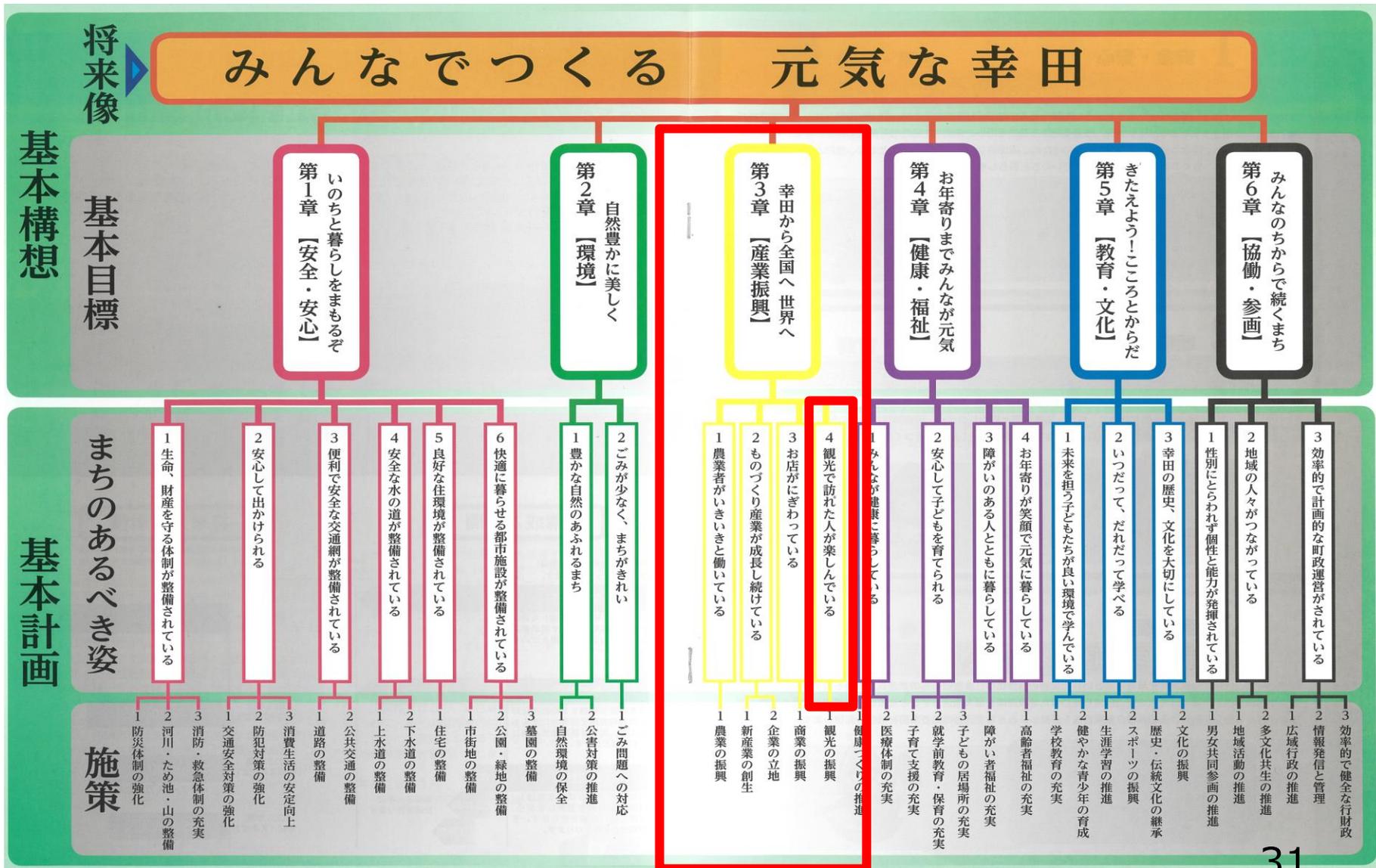
2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
11	6	5	6	3	4	8	9



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第3章 幸田から全国へ 世界へ

施策4 観光で訪れた人が楽しんでいる

- 名豊道路などの整備により、名古屋や豊橋方面から本町への交通の便が良くなってきている。
- 施設観光やイベント観光によって、更にはぎわいを生み、活力あるまちとしていく。
- しだれ桜まつりやあじさいまつりなどを通じて、交流人口や関係人口を増やす。
- 地元産品、地元企業・人材と連携した観光ビジネスの展開を図る。
- 多くの観光客に利用されている道の駅の来場者数は、コロナ禍中も大幅には減少していないが、徐々に減少。
- このほか、ロケツーリズムやアニメツーリズムなど、町独自の新たな観光資源も発掘。



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第3章 幸田から全国へ 世界へ

施策4 観光で訪れた人が楽しんでいる

【主な取組】

- ・ロケツアーリズム・アニメツアーリズムの推進
- ・特産品グルメメニューの開発
- ・「道の駅」整備と周辺PR動画の作成

【年間道の駅来場者数（人）】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
386,497	424,142	480,199	436,326	451,760	440,283	433,157	404,977

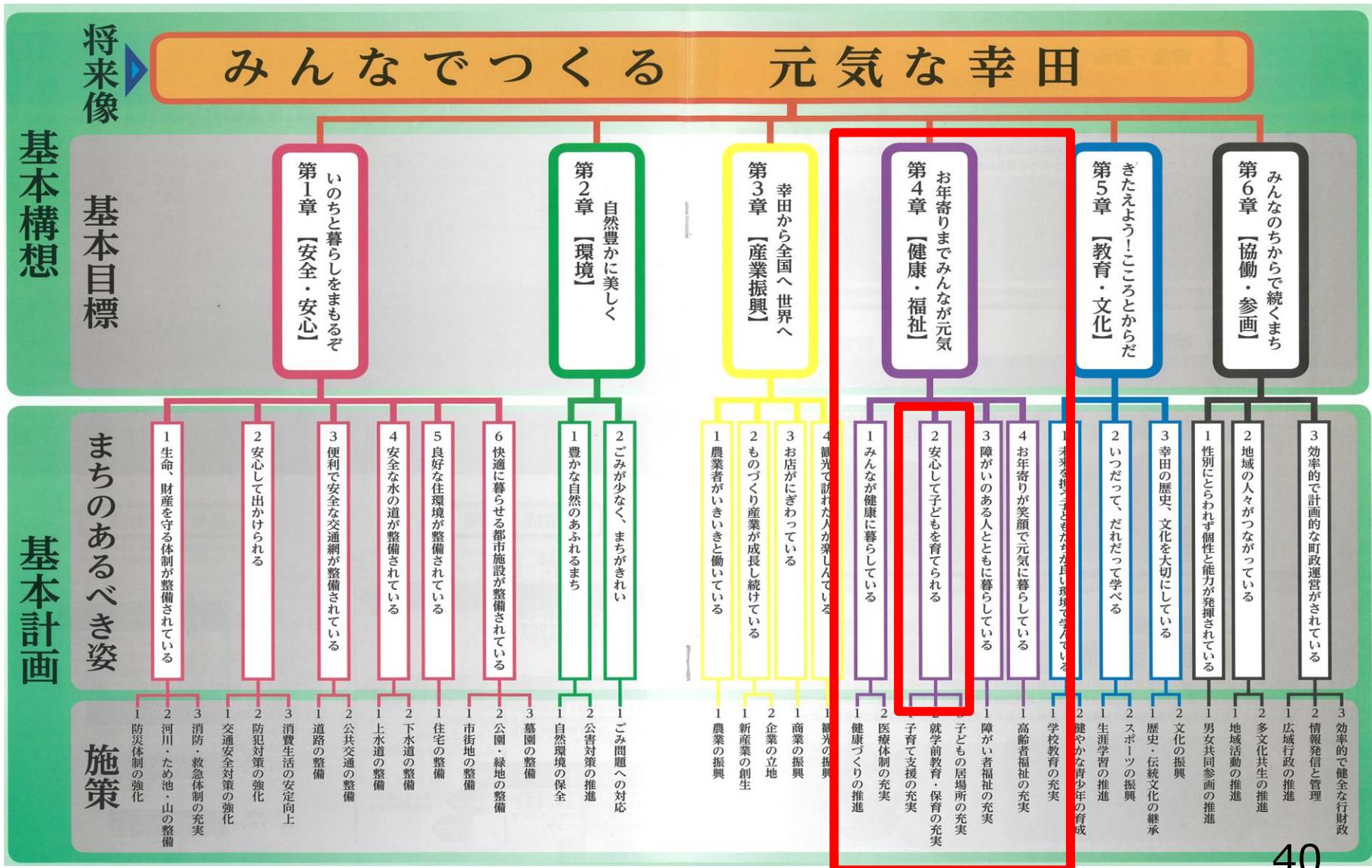
ロケツアーリズム



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第4章 お年寄りまでみんなが元気

施策2 安心して子どもを育てられる

- 安心して出産や子育てができるようにするため、悩みや相談に対応する「子育て世代包括支援センター」を保健センター内に設置し、妊娠期から子育て期まで関係機関と連携して支援。
- 女性の社会進出が進むとともに、就学前の保育のニーズが高まっているため、民間による小規模保育施設を誘致・支援することで、1・2歳児の受け入れを増加
- 2023(令和5)年度からは、保育園等給食主食費の補助及び「子育て応援・家事サポート事業」を開始し、子育て家庭の支援を充実。



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第4章 お年寄りまでみんなが元気

施策2 安心して子どもを育てられる

【主な取組】

- ・幼児教育・保育の無償化
- ・病後児保育
- ・保育園等給食主食費の補助
- ・町立保育園ICTシステム導入(令和7年1月～予定)
- ・子育て応援・家事サポート事業開始
- ・高校生世代までの医療費無償化
- ・出産・子育て応援事業開始
- ・産後ケア事業
- ・豊坂ほっと館の開設

【利用者支援事業の母子健康手帳の交付件数(件)】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
474	442	400	410	375	347	323	277

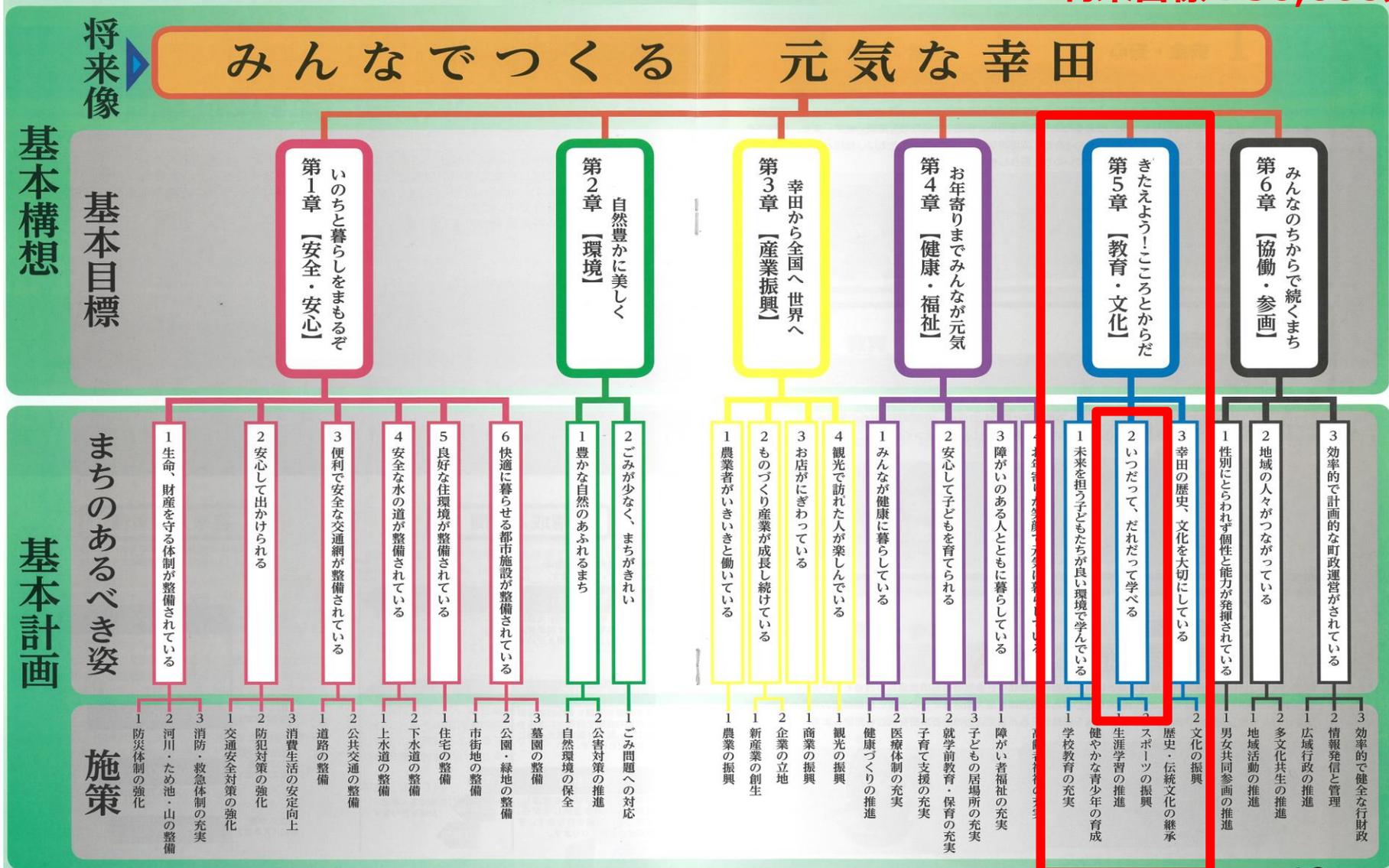
44



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第5章 きたえよう！こころとからだ

施策2 いつだって、だれだって学べる

- 目まぐるしく変化する社会に対応するため、様々な年齢の方に向けた講座の開催や既存講座の見直しを進めながら、生涯に及ぶ学習要求に対応する機会を提供。
- 文化の中心である町民会館、図書館、そして町民プールは開業から約30年が経ち経年劣化が目立つため、大規模改修工事を順次実施。
- 菱池遊水地の多目的利用や、総合体育館の建設についても検討。
- 多世代による交流を促進するため、多世代交流施設(豊坂ほっと館)を開設。



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第5章 きたえよう！こころとからだ

施策2 いつだって、だれだって学べる

【主な取組】

- ・町民会館、図書館及び町民プールの整備
- ・豊坂ほっと館の開設



豊坂ほっと館

【多世代交流施設の利用者数（人）】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
-	-	40,940	34,827	17,169	23,141	26,535	34,680

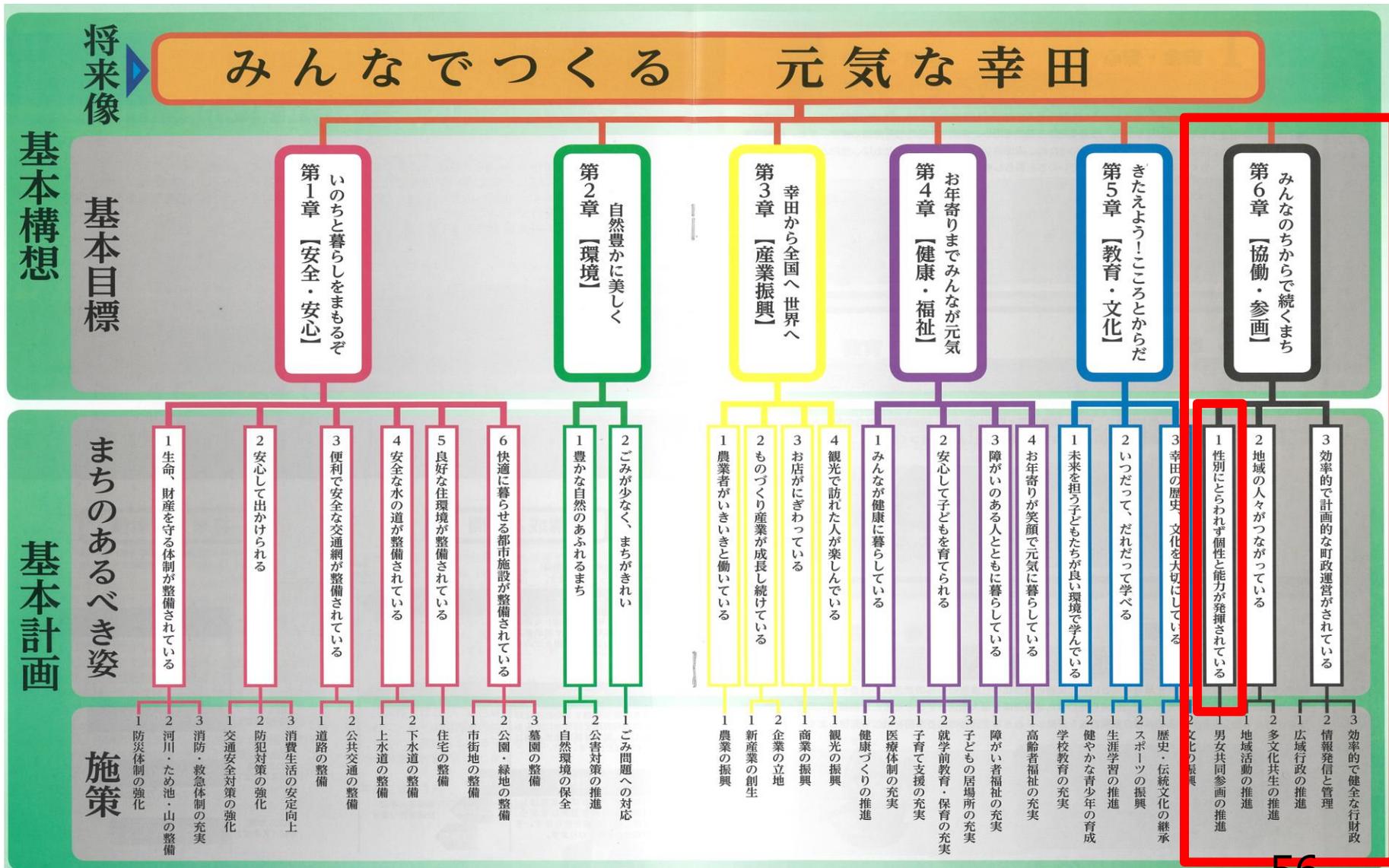
※2018（平成30）年に開設



第6次幸田町総合計画

人口目標：42,000人

将来目標：50,000人



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第6章 みんなのちからで続くまち

施策1 性別にとらわれず個性と能力が発揮されている

- 国際化や少子高齢化が進展し、人口構造が変化する中で、町が今後も住みやすく活力あるまちとして発展していくために、住民がお互いの個性を認め合い、みんなで協力し活躍できるよう男女共同参画を推進。
- 性的マイノリティの自由な意思を尊重するとともに、誰もが自分らしく暮らせる多様性に富んだ社会を実現することを目的とする「幸田町パートナーシップ宣誓制度」を2023(令和5)年度に導入。
- 各種審議会、委員会等での女性委員の割合は2016(平成28)年には26.2%でしたが、2023(令和5)年には27.2%と改善。



■「第6次幸田町総合計画」進捗状況

第6章 みんなのちからで続くまち

施策1 性別にとらわれず個性と能力が発揮されている

【主な取組】

- ・パートナーシップ宣誓制度の導入
- ・女性消防職員の採用及び女性消防団の活躍



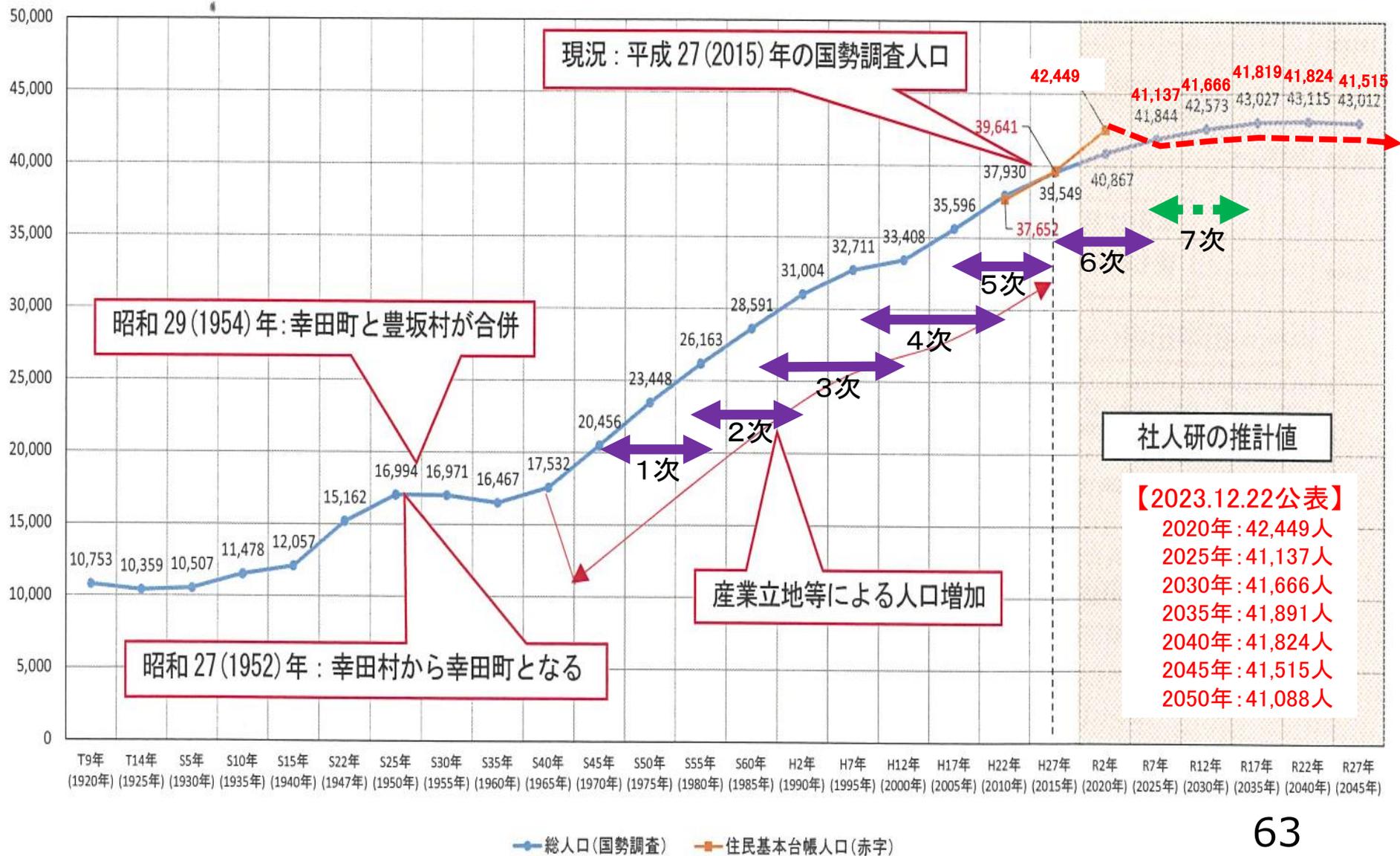
女性消防団員

【各種審議会、委員会等で女性委員の割合（％）】

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
26.2	23.8	23.9	24.3	25.0	24.1	26.1	27.2



「第7次幸田町総合計画」策定



■「第7次幸田町総合計画」策定

●策定期間

2024（令和6）年度～2025（令和7）年度

●業務内容

2024（令和6）年度

- ・基礎調査
- ・第6次幸田町総合計画の評価・総括
- ・住民意識調査
- ・基本構想等の草案作成など

2025（令和7）年度

- ・基本計画等の草案作成など



■「第7次幸田町総合計画」策定スケジュール（案）

